

令和 8 年度 福祉教育推進セミナー
～発達障害を知る福祉教育を考える～
開催要項

1. 趣 旨

私たち福祉教育を担う福祉関係者には、体験学習を含む福祉教育を実践していくことを前提に、授業終わった後の子どもたちが、福祉的支援を必要とする方の生活や地域の環境を、我が事として捉えられるような授業構成や実践方法を考えていくことが求められます。

本セミナーでは、“体験器具を使わない体験学習”を通じて、発達障害について学び、子ども達が身近な存在を理解し、お互いに過ごしやすい環境や関わり方を築き上げていけるような授業実践や授業者としての想いについて、講話いただきます。今回は参加者の皆様にも、実際の授業を体験してもらいます。

また、グループワークを通じて、当事者の生活や気持ち、共に過ごす未来について、子ども達が主体的に考えられる『授業づくり』について考えます。

さらに、令和 7 年度に作成した「沖縄県福祉教育の手引書」の活用方法や掲載されている市町村社協の授業実践事例についても説明を行い、福祉教育の積極的な実践に繋げていくことを目的に開催します。

2. 主 催 沖縄県社会福祉協議会/沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

3. 後 援 沖縄県教育庁（予定）

4. 日 時 令和 8 年 9 月 15 日(火) 13:00～16:00 （受付 12:30～）

5. 開催場所 沖縄県総合福祉センター 東棟 4 階 403 研修室

6. 参加費 無料

7. 対 象 市町村社会福祉協議会、教育関係者（小・中・高校、特別支援学校、教育委員会 地域コーディネーター等、教育事務所）、NPO・ボランティア団体、その他福祉教育を進めている関係機関・団体、福祉関係者等

8. 定 員 60 人程度

9. 申込締切 令和 8 年 9 月 10 日（木）17 時まで ※定員に達し次第受付終了

10. 日程/内容

12:30～13:00	受付
13:00～13:05	開会・オリエンテーション
13:05～13:30 (25分)	基調説明 「沖縄県福祉教育の手引書について」 説明者：橋口 卓広（沖縄県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動支援センター）
13:30～14:30 (60分)	模擬授業 「発達障害を題材にした福祉教育について」（仮） 授業者：恩河 亜須香 氏（宮古島市社会福祉協議会 地域福祉課） 受講者の皆様が児童役となって、実際の授業を体験してみましょう！
14:30～14:40 (10分)	休憩
14:40～14:55 (15分)	授業解説・説明・質疑応答 模擬授業の振り返りと授業づくりで大事にしていること 講師：恩河 亜須香 氏（宮古島市社会福祉協議会 地域福祉課） 助言者：波名城 翔 氏（琉球大学 人文社会学部人間社会学科 准教授）
14:55～15:55 (60分)	グループワーク ファシリテーター：波名城 翔 氏（琉球大学 人文社会学部人間社会学科 准教授） 助言者：恩河 亜須香 氏（宮古島市社会福祉協議会 地域福祉課） 体験学習を取り入れた福祉教育の授業を作ってみましょう！ 授業者として、体験器具がない障害に関する福祉教育を作る上で、どのように『体験』させて、どんな『まとめ』にすると、子ども達が色々な視点で考えることができる授業になるかを検討し、グループで意見交換しながら作りましょう！
15:55～16:00	アンケート・閉会

お申し込みは
こちらから↓



11. 申 込

沖縄県社会福祉協議会のホームページ、または左記 QR コードを読み取り、申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。

ホームページ (<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>)

※開催要項等は本会ホームページからダウンロードできます。

12. お問合せ先

沖縄県社会福祉協議会/県ボランティア・市民活動支援センター（担当：橋口・山城）

〒903-8603 那覇市首里石嶺町 4-373-1 東棟 2 階

TEL:098-884-4548 / E-mail:vol@okishakyo.or.jp